

活動名称 (40字以内)	東日本グリーン復興モニタリングプロジェクト(干潟調査)		
団体名等	認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン		
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		1 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/3(土) ~ 2019/8/4(日)	主な活動場所	宮城県松島町、利府町
	2 日間		
目的	被災後の干潟の生きものを調査し、被災前後の種の多様性の変化や希少種の分布を把握する		
具体的な内容 (800字程度)	<p>被災した地域の生きもの調査を継続して実施している研究者を学生はボランティアとして手伝います。</p> <p>一般的に環境に大規模な変化があった後に生態系が元に戻るには、構成する生物種の約3世代分の時間が必要と言われています。干潟に生息するゴカイなどは1年程度で世代交代しますが、貝類やカニ類及び魚類は3年程度であることが多く、震災前の状態に戻るには10年程度の時間が必要とされています。干潟に生息する生物の人為的、生物学的課題を解決するために、2011年に始まったこの調査は2020年まで継続して検証します。</p> <p>ボランティアは、干潟の表面や泥の中の生きものを探し、出現した種類を記録します。データを被災前と比較することで環境の影響評価に役立てるとともに、種多様性の高い所や希少種の存在場所を保全できるようにします。</p> <p>この企画は、東大弥生キャンパス内に事務局を置くアースウォッチ・ジャパンと協働で実施します。事前に、東北の沿岸域の生態や漁業について、本学農学生命科学研究科農学国際専攻国際水産開発学研究室(八木准教授)から予め解説を行います。</p>		
備考	・事前レクチャー 6/27(木)17:00- 18:30 参加必須。(場所は東京大学弥生キャンパスを予定)		
参加するための費用 [※]	内 訳(1名当たり)	その他 [※] 特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 9,500 円 (食費) 円 参加費 3,000 円 計 円	現地集合・現地解散となりますので往復交通費は実費を個人負担していただきます。 参加費には、ボランティア保険加入費用および手続き費用が含まれます。	
		奨励金額	21,700 円
ウェブサイト等	http://earthwatch.jp/pi_domestic/detail/detail_higata.html http://earthwatch.jp/pi_domestic/detail/briefing_higata.pdf http://www.earthwatch.jp/index.html http://www.earthwatch.jp/about_us/images/ewj_2018report_web.pdf		